

# Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life

2  
2018

VOL. 149

開祖随感

## 成功と失敗

失敗が好きな人はいませんが、極端に失敗を恐れて何もしない、何もできないという人が、若い人に多くなっていないでしょうか。事を始める前に結果を考えたなら何もできません。

とにかく、まず全力を尽くしてやってみる。それで思うような結果が得られなかったら、やり直せばいいのです。お釈迦さまでも、そうなのです。お釈迦さまは、命をけずるような苦行を六年間も続けられたのですが、それが悟りへの道でないと知って、やめてしまわれました。

私たちは、せっかく大学を出たのにそれがなんの役にも立たなかったら大失敗と考えますが、大学で

何年間か努力してみなければ、それがむだかどうかとも分からないわけです。この世に、なんの役にも立たないむだなどあるはずがありません。その失敗の裏側に、成功があるのです。お釈迦さまのお悟りも苦行に命をかけられた六年間があってこそ得られたのです。

私たちの目に成功と映り失敗と見えることも、一つのことの表裏です。失敗の屈辱くつじょくを通して得た教訓は、二度と忘れるものではありません。なにごとにも全力を尽くすと、失敗が成功につながり、成功におこ奢れば失敗が待ち受けています。

『開祖随感』9 P. 88-89)

Living the Lotus  
2018年2月号 (Vol.149)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: [living.the.lotus.rk-international](mailto:living.the.lotus.rk-international)

[@kosei-kai.or.jp](mailto:@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 人生を厳肅なものに

立正佼成会会長 庭野日鏡



### 厳肅に生きるとは

「人生を厳肅なものに」というテーマですが、そもそも一人ひとりの一生は、「生まれる・老いる・病む・死ぬ」のどこをとってみても厳肅以外の何ものでもありません。意識していないだけで、私たちはみな厳肅な人生を歩んでいるのです。そうすると、そのことを明らかに知る、真理を自覚して生きることが、人生を厳肅なものにする鍵といえそうです。

ただ、「厳肅」を辞書で引くと「おごそかで心が引き締まるさま」とあり、そうした気持ちを持ちを常にもちつづけるとなると、堅苦しくて「とてもそのようには生きられない」という気がしてしまいます。だからでしょうか、ある方はきわめてわかりやすく「厳肅とは、無常観に立って、いまを大切に生きること」といわれています。一日を、一時間を、そしていま目の前の一分一秒をおろそかにしないで、ていねいに暮らすことが大切なのです。

そのように捉えると心に余裕が生まれますから、気持ちもゆったりと落ち着いて穏やかになり、まわりの人とも仲よく、楽しくすごせます。そういう時間の積み重ねが、幸せで、かつ厳肅な人生といえるのでしょう。

一休禪師の道歌「死んでから仏になるはいらぬもの 生きたるうちによき人となれ」ではありませんが、あの世に行ってから厳肅になるのではなく、いまこの娑婆すでに厳肅な人生を歩んでいる真実をかみしめ、一日一日を確かなものにしていきたいものです。いつも申しあげるように、私たちはみな仏性をもっていますから、だれでも真理を自覚することができます。「娑婆即寂光土」と受けとればおのずと、人生は厳肅なものになっていくのです。



## 心のスイッチを入れる

たくさんのすぐれた仏教詩を残した教育者の東井義雄先生が、小学校の校長をされていたとき、ある教室に次のような言葉が掲げられていたそうです。

「ずいぶん 寒くなったが／いつまでも 寝床の中で／グズグズしていないで／心のスイッチをポンと押して／パッととび起きようではないか／ポンとスイッチを押すと／パッとあかりがともるように／朝起きも ポン・パで行こう」

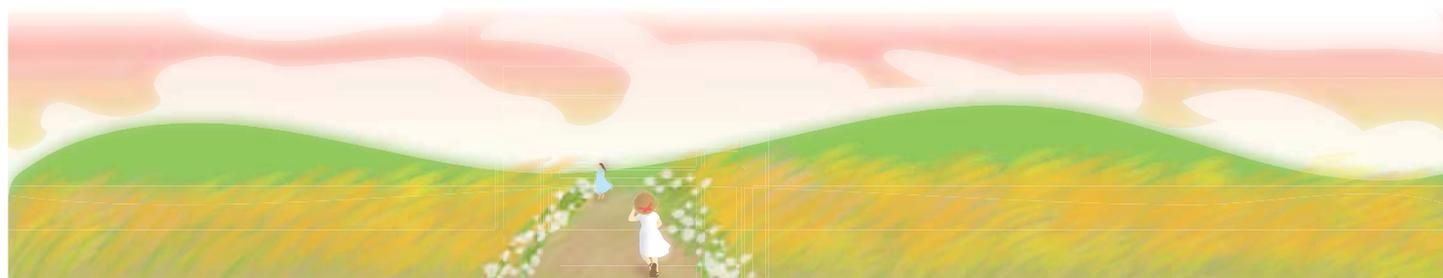
（『東井義雄「いのち」の教え』佼成出版社刊）

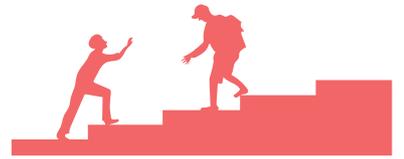
いまはちょうど一年でいちばん寒い時期ですから、みなさんにも思い当たるふしがあるのではないかと思います。この「ポン・パ」は、いろいろなシーンで活用できそうです。それぞれが苦手とすることに当てはめてみてもいいですし、日常生活のなかで真理を自覚することについても、この「心のスイッチ」は役に立つように思います。

朝、ご宝前にお参りするとき、学校や職場や教会道場へ出かけるために家を出るとき、「おはようございます」と人とあいさつをかわすときなど、毎日、何気なく行なっていることのどれか一つを「心のスイッチ」を押すきっかけにして、心に「ポン」と「真理の電流」を流し、「きょう一日、出会う人を大切にしよう。時間を有意義に使おう」というような「真理の灯り」を、心に「パッ」とともすのです。「ありがとう」という感謝の言葉も、私たちが「いま・ここに存在する」という厳粛な事実から生まれた「有り難い」を語源とするものであり、真理をかみしめるための「心のスイッチ」にはうってつけといえるでしょう。こうした習慣が身につけば、ことさら意識しなくても、私たちの日常は自然に厳粛なものになっていきます。

入滅される前、釈尊は「すべては移ろいゆく。怠ることなく精進しなさい」といって残されました。涅槃会には、ご自身の死に際して、あらためて無常の法を説き、精進を促された釈尊のお心に思いを寄せてまいりたいと思います。

（『佼成』2018年2月号）





## 明るく、優しく、温かく、人さまのご縁となつて

韓国教会  
成淑姫

この体験説法は、2017年11月1日に大聖堂で行なわれた朔日参り(布薩の日)ご命日式典で発表されたものです。

私は1955年、韓国の南西の小さな島で生まれました。1年後、父が25歳で亡くなったため、母は都会に働きに出ました。私は母の実家に預けられ、祖父母の愛情をいっぱい受けて育ちました。私が10歳の時、母は再婚しました。新しいお父さんには6人の子供がいたので、母は私がかつての中で苦勞するのではないかと心配し、また私の教育にも支障がないようにと、私を釜山に住む叔母の家に預けました。6年後、新しいお父さんは、国の政策転換によって財産をなくし、失意の中で自ら命を絶ちました。母は39歳で再び一人になりました。

その後母は、私と弟のため身を惜しまずに働いてくれました。私は、母の苦勞を当たり前のように思い、感謝どころか母に対して無作法に振る舞い、家では口もきかず、どんなことも勝手に一人で決めていました。大学を卒業し、勤めた英国系の会社で出会った主人と27歳のときに結婚しました。

しかし、現実には自分の思い通りにはなりません。私は学

校の勉強は得意でしたが、整理整頓が苦手でした。経済観念も乏しく、お金があればあるだけ使い、なければなくて、それほど不自由とも思いませんでした。そのため、何でもきちんとしたい主人とよく衝突しました。私ができない部分を一つひとつ指摘する主人の言葉と振る舞いに自尊心が傷つきましたが、私は気持ちを素直に伝えることができず、じつと我慢していました。そして、そのマイナスエネルギーを子どもたちの教育に注ぎ込みました。自分の思い通りにならない長男を外に放り出したり、長女の数学の教科書をやぶいたこともありました。子どもたちはいつ腹を立てるかわからない私の顔色をうかがいながら、私の前ではおとなしくしていました。しかし、問題は徐々に表面化してきました。勉強はできても笑顔がなくなり、口数も少なくなった長男。我が強い長女は、心の怒りがチック症状になって現れました。次女は家に置いてあったお金を持ち出して友だちにあげてしまったり、嘘をついたりするようになりました。さらに、主人は、きれい好きで素直な女性と所帯をかまえ、子どもまでつくっていました。やがて、順調だった主人の会社が不渡りを出し、私は、お金を貸してくれていた近所に住むキム・ソンジャさんの誘いで、佼成会に入会させていただきました。

韓国立正佼成会を初めて訪問した1995年7月15日は、私の第二の誕生日となりました。「自分が変われば、相手が変わる。」それが、そのときに聞いたお説法の内容でした。自分以外の全てを変えたいと思っていた私にとって、教会で初めて聞いたこの言葉に心を惹かれました。「今、ここで、自分が相手とどのようなご縁を結ばせていただくことによって、いくらでも結果を変えることができる」という因縁果報の法則を教えていただいたときは、目からウロコが落ちる



大聖堂で体験説法する成さん

思いがしました。さっそく総戒名をお祀り込みさせていただき、朝夕のご供養をさせていただきます。教えていただいた「三つの実践」もさせていただきます。たったそれだけで、子どもたちはお母さんが佼成会に行くと優しくなった、家が明るくなったと言ってくれました。ごく簡単な実践の結果に、私は驚きました。しかし、教えの理解はまだとても浅いものでした。「『諸の慳貪の者には布施の心を起こさしめ』の部分は姑に聞かせてあげたい!」「『瞋恚盛んなる者には忍辱の心を起こさしめ』の部分は主人が聞かなければ」と、姑と主人を心の中で裁いておりました。そんな心を見透かされたのか、「日本のお寺に行くと大変なことが起きる」と頑として反対する姑のため、2年間教会に行くことができませんでした。しかし当時の布教部長さんの手取りのおかげさまで、近所に住む信者さんの家での追善供養や法座に参加させていただき、ご法の縁は切れずにおりました。

そんな中、1998年のことでした。近所に住むパク・ヨンヒさんの高校1年生の次女キナちゃんが、心と体の原因不明の苦痛に襲われて学校に行けなくなり、お母さんは毎日泣いていました。私は嫌がって抵抗するキナちゃんをなだめながら、教会へ連れて行きました。今は故人となられた当時の李京子教会長さんが、キナちゃんのために手作りのトーストを作り、話しかけてくれました。「キナちゃん、あなたは今ここでありがたいことをどのくらい探せるかな?」——このパンを持つ手があり、食べられる口があり、食べる前や後に手を洗う水があり……。キナちゃんはその日みんなと数え切れないほどの感謝を見つけて、喜んで家に帰って行きました。そして、次の日からキナちゃんは毎日学校へ通うことができるようになったのです。その日私は、全力を尽くして初めて出会ったキナちゃんのご縁を結んでくださった教会長さんの温かいまなざしに、強く心を惹かれました。

教会長さんは、私にも「あなたも一緒に修行しないとだめですよ」と声をかけてくださいました。姑と主人の機嫌をうかがい、教会に行けなかった私でしたが、この不思議な教

えをどうしても自分のものにしたいと思い、勇気を出して教会に通うようになりました。佼成会の法座は胸がわくわくするほど待ち遠しく、楽しみでした。さまざまな問題に対して教会長さんにご指導をいただくと、いつも、その根本原因は自分の無明にあると教えてくださいました。主人の浮気も、その原因は主人や相手の女性ではなく、私にあるのだと教えていただいたときは悔しい気持ちがしましたが、かえって心がすっきりしました。心の中で主人を無視する冷たい自分だったことを主人にお詫びしようと思いましたが、自分の気持ちを主人に直接言葉で伝えることができず、手紙で伝えることにしました。二つの家庭をつくらせ、肩身の狭い思いをさせたことなど、私はお詫びの気持ちを手紙に託しました。そのときの私は、主人の反応を気にする以前に、自分の心を伝えられたことがうれしく、誇らしい気持ちでした。

韓国で立正佼成会についてお話しするとき、日本から来た宗教だと説明すると、日本の植民地時代の苦しい経験を思い起こさせたり、また同じようにお題目を唱える別な宗教団体と誤解されたりして、敬遠されてしまいます。また、文化の違いから、家の中に仏さまや先祖さまをお祀り込みすることにも、最初は拒絶反応を示します。それでも教会の皆さんは、開祖さま、会長先生の教えに、ふれると心が変わっていきます。そして、教えの通り実践することで、救われ、成長します。さらに、家族やまわりの人と一緒に幸せになっていくサンガの仲間の姿を見て、徐々に教えに対して確信を深めていくのです。私も幹部さんと一緒に楽しくお導きや手取りに歩かせていただきました。親戚や知人をお導きさせていただき、1999年、本部勧請ご本尊のお手配をいただきました。その後、文書部長、そして2009年からは教務部長兼支部長のお役を拝命し、月刊『韓国佼成』をはじめとする出版物の翻訳と出版に、微力ではありますが携わらせていただきました。書物とともにいる時間は幸せでした。しかし、まだ頭で理解しただけで、自分自身が悟ったと錯覚し驕慢になっていた私でした。

毎日教会に来て、お役も手取りもよくされるG主任さんは、娘さんたちの仲が悪く、それが悩みでした。私は、「娘さんたちの心を汲み取ってあげて、ほめてあげてください」と解決の手立てをお伝えしました。するとG主任さんは、「教えを实践する喜びを感じないので、私にはできません」「喜びを感じられないのは支部長さんが私を認めてくれないからです」と、強い口調で私に迫りました。そのとき私は自分の間違いに気づかされました。G主任さんの気持ちに共感してあげることもせず、「教えはこうですよ」と、論理で理解させようとしていた冷たい自分に気づいたのです。李教会長さんはすべての人に「善哉、善哉」と声をかけ、自分が一番愛されていると感じられるように寄り添ってくださいました。そのご恩にお報いするためにも、分け隔てなく、明るく、優しく、温かく、人さまのご縁にならせていただこうと、そのとき私は思いました。その大切さを教えてくださったG主任さんに、私は心から感謝しています。

私が受け持つ支部には、草創期に信心一つで修行してこられた大先輩がたくさんいらっしゃいます。個性豊かなお一人おひとりとの毎日のご縁は、なかなか変えられない自分の言動と心を変えさせていただく修行でした。そのお陰さまで、姑との仲も良くなりました。4年前、姑は頸椎腫瘍の除去手術後、首から下が麻痺した状態になりました。まごころから介護させていただけたのも、み教えと修行のおかげさまで。姑は2年前に亡くなりましたが、朝夕、姑の傍らで三部経をあげさせていただき、肌と肌でふれあい、全身全霊で介護させていただいた日々が、今は心の温まる思い出になりました。

その4か月後、実家の母が食べ物を氣道に詰まらせ、突然世を去りました。一生を子どもたちに捧げてくださった母に、これから親孝行をさせていただけると思っていた矢先でしたので、後悔し、自分を責めました。しかし、「本当の親孝行は親が亡くなってからであり、法華経に出会って菩薩行をさせていただき、人さまに喜ばれる人になるのが本当の

親孝行です」という会長先生のお言葉に救われました。

主人の会社が多額の借金を抱えて不渡りを出したとき、「器を大きくするのが先ですよ」と教会長さんから教えていただいたご指導を胸に、お役一筋に20年を過ごしてまいりました。4人の子どもたちは大きく育ち、それぞれの場でお役に立たせていただき、親孝行をしてくれています。長女は学林を卒林し、今はご本部で奉職させていただいております。そして子どもたちのそばには、私が一番いてほしかった強く優しいお父さんがいます。

尊い人間に生まれながら、どうしようもない人生を送っていたかもしれない自分が、佼成会に巡り会い、人格完成を目指し、「まず人さま」を实践できる、最高の人生をいただきました。これまで私が経験させていただいた全てのできごとは、今の私を作ってくくださるための仏さまの有り難いばかりであったことに気づき、願生を自覚したとき、私にとって過去のできごとは全て貴重な財産になりました。

韓国教会は、今年35周年を迎えました。現在の李教会長さんは前教会長さんの娘さんです。日本語が堪能で、開祖さま、会長先生の教えを、正確に、即座に、そしてあたたかく伝えてくださり、本当に有り難く思います。開祖さまがやさしく説いてくださった真の仏教の教え、佼成会の教えを、韓国の地で多くの人々にお伝えし、ともに幸せになる道を歩んでいくことをお誓いさせていただきます。



韓国教会で研修講師を務める成さん

**Living the**  
 **LOTUS**

# The 7 Parables of the Lotus Sutra

## 三草二木の譬え

## 妙法蓮華經 藥草論品第五



とても暑い日のことです。強い日差しで、地面はからからに乾いていました。そこへ、大きな雲が、空いっぱい広がって、世界中どの場所にも同じように雨が降りだしました。この世界には、様々な種類の草木があり、そのすべてに、雨は平等に降り注ぎ、世界中を潤しました。



そこには、大中小の生い茂る木々や薬草などがありました。それぞれの根・茎・枝・葉・花・実などは、等しく恵みの雨を受けて鮮やかに輝いてきました。同じ雲から同じ雨を受けても、草木の種類によって、その受けとり方は様々に違います。たくさんの雨を受ける大きな木もあれば、ほんの少しの雨で十分な草もあります。そして、それぞれが、その性質に応じて生長し、花を咲かせ、実を結びます。

大きな木には、大きな木の役目があり、小さな木には、小さな木の役目があります。小さな木が、大きな木に劣っているのではなく、それぞれが自分の性質に応じて、精一杯に生きています。皆が自分の役割を果たしていくことで、世界全体が生きているのです。



## 解説

強い日差しを受けて、からからに乾いた世界は、私たちが苦しみや悩みの中で生きていることを表しています。そこに広がる雲は仏さまであり、恵みの雨は仏さまの教えです。私たちは、草木が雨を待ち望むように、心の渇きを潤すものを求めています。大きな雲である仏さまは、私たちの世界をあまねく覆い、平等に教えの雨を降らせてくれています。人々の性格、能力、育った環境などには違いがあり、教えの受けとり方は異なりますが、私たちは皆、それぞれの機根に応じて、自分にふさわしい成長をすることができるのです。

「根」、「茎」、「枝」、「葉」とは、「信」、「戒」、「定」、「慧」にあたります。草木にとって一番大切な根は教えを信じる心、「信」のことで、「信」があるから、仏さまの教えに帰依した者の戒め（「戒」）を守ることができます。「戒」を守ることで、真理に集中し動揺しない心である「定」の境地に至ります。「定」の境地に入ること、最高の智慧である「慧」を得ることができます。ただし、根があっても、茎や枝葉がなければ、いつかは根も死んでしまいます。信仰とは、「信」から起こり、「戒」、「定」を経て「慧」に達するものですが、この四つは、どれも必要不可欠なのです。

草木の大きさに違いがあるということは、私たちの性格や能力に違いがあることを表しています。しかし、そうした違いがあっても、それぞれが自分のもっている力を精一杯に発揮すれば、すべてが尊い存在なのです。自分より大きな木を見て、卑屈を感じる必要はありません。私たちは同じ地面から生えた草木のようなもので、ひとつのいのちを生きています。仏さまの大慈悲によって生かされているのです。そういう意味では私たちは表面的に違いがありながらも、皆平等であると言えます。

等しく仏さまのいのちをいただいている私たちが、それぞれ違う姿形で生まれ、違った能力があることに意味があるのです。自分がこの世において、どんな役割を持っているのかを知ることが大切です。この役割を精一杯に果たしていくことが菩薩道（花）であり、その道を歩んでいけば、必ず皆、仏の境地に達する（実）ことができるのです。

（中央学術研究所 監修）



※解説は、『法華経の新しい解釈』と『新釈法華三部経』（庭野日敬著）を参考にしています。

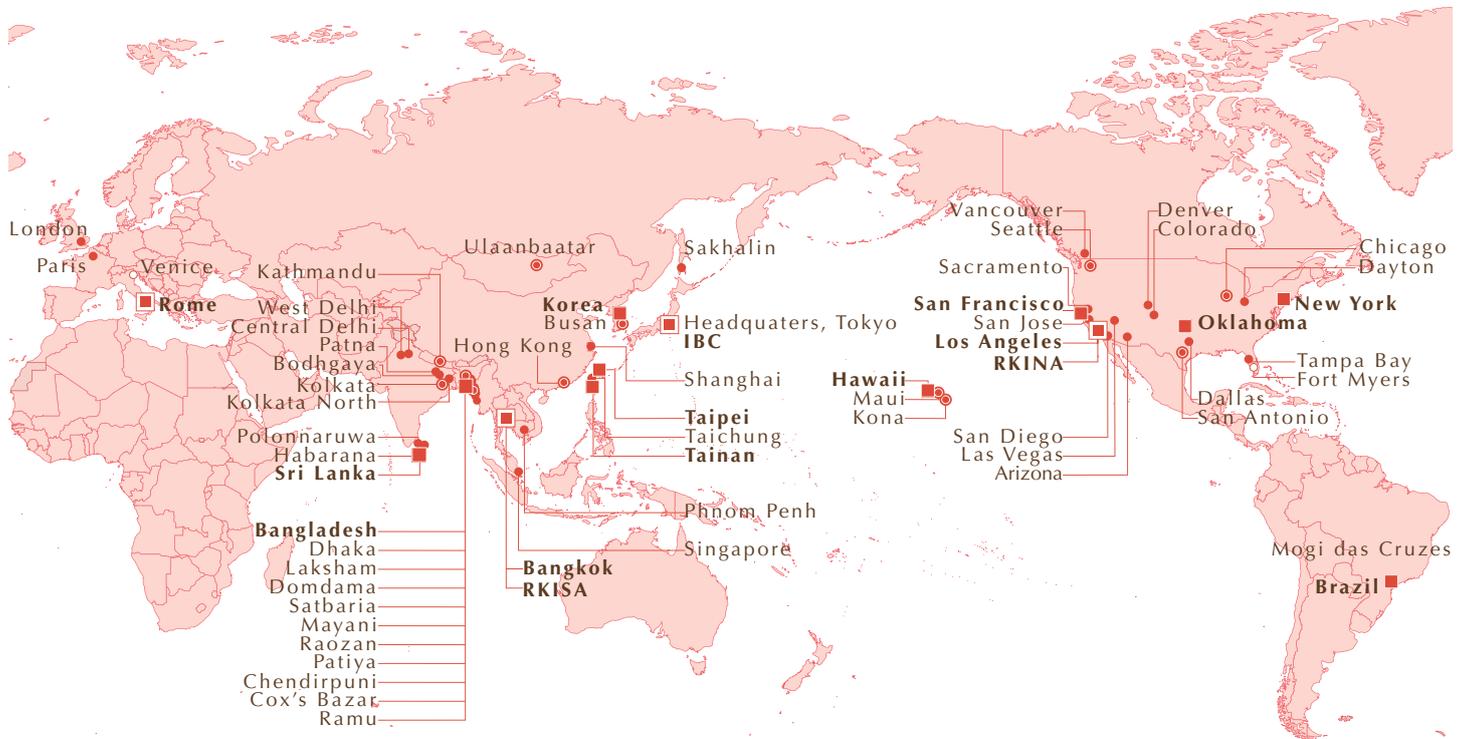


## 自立した信仰へ

寒中法華三部経読誦修行が終わると、本当の意味での新しい年のスタートを感じる方々も多いと思います。三部経全巻を通して読誦する中で、心身ともに清められ、新しい年への誓願も新たにできるからだと思います。読誦期間中に何かしら目標をもって取り組むといいかもしれませんね。

年頭ご法話の中でも、一つの目標に集中して取り組む大切さを確認いただきました。目標に向かって努力し、達成したら、また新たな目標を持つ。その繰り返しが、維新——絶えざる創造——であり、自立した信仰への大事なプロセスです。常に目標を掲げ、今、目の前にある一つひとつのことを大切に、日々新たな気持ちで精進させていただきたいものです。

国際伝道部長  
齋藤 高市



## RISSHO KOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES

✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願いします。  
E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

# 2018

## Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan  
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

## Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles CA 90033 U.S.A.  
Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437  
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

## Branch under RKINA

### Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way,  
WA 98003 U.S.A.  
Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261  
e-mail: rkseattlewashington@gmail.com  
http://buddhistlearningcenter.org/

### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.  
P.O. Box 692148, San Antonio, TX78269, USA  
Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745  
e-mail: dharmasanantonio@gmail.com  
http://www.rkina.org/sanantonio.html

### Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.  
Tel: (727) 560-2927 e-mail: rktampabay@yahoo.com  
http://www.buddhismtampabay.org/

### Rissho Kosei-kai of Vancouver

## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.  
Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633  
e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

### Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.  
Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

### Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona,  
HI 96740 U.S.A.  
Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567  
e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.  
Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437  
e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento  
Rissho Kosei-kai of San Jose

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.  
Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499  
e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.  
Tel: 1-773-842-5654 e-mail: murakami4838@aol.com  
http://home.earthlink.net/~rkchi/

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.  
Tel & Fax: 1-405-943-5030  
e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

## Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.  
Tel: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.  
http://www.rkina-dayton.com/

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,  
CEP 04116-060 Brasil  
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377  
Fax: 55-11-5549-4304  
e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

## Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,  
CEP 08730-000 Brasil  
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

## Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongjheng District,  
Taipei City 100 Taiwan  
Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433  
http://kosei-kai.blogspot.com/

## Rissho Kosei-kai of Taichung

## Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District,  
Tainan City 701 Taiwan  
Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

## Rissho Kosei-kai of Pingtung

## Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696  
e-mail: krkk1125@hotmail.com

## Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

#### **Branches under the Headquarters**

##### **Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,  
North Point, Hong Kong, Republic of China

##### **Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
*Tel:* 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

##### **Rissho Kosei-kai of Sakhalin**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk  
693005, Russian Federation  
*Tel & Fax:* 7-4242-77-05-14

##### **Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia  
*Tel & Fax :* 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

##### **Rissho Kosei-kai of the UK**

##### **Rissho Kosei-kai of Venezia**

##### **Rissho Kosei-kai of Paris**

#### **International Buddhist Congregation (IBC)**

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan  
*Tel:* 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224  
*e-mail:* ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

#### **Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218

#### **Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218  
*e-mail:* thairissho@csloxinfo.com

#### **Branches under the South Asia Division**

##### **Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,  
110060, India

##### **Rissho Kosei-kai of West Delhi**

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka, New Delhi 110075, India

##### **Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

##### **Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

##### **Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road  
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

##### **Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,  
Kathmandu, Nepal

##### **Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,  
Phnom Penh, Cambodia

##### **Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

##### **Rissho Kosei-kai of Singapore**

#### **Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218 *e-mail:* info.thairissho@gmail.com

#### **Rissho Kosei-kai of Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
*Tel & Fax:* 880-31-626575

##### **Rissho Kosei-kai of Dhaka**

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,  
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh  
*Tel:* 880-2-8413855

##### **Rissho Kosei-kai of Mayani**

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,  
District: Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Patiya**

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Domdama**

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar**

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Satbaria**

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Laksham**

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,  
Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Raozan**

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Chendirpuni**

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

##### **Rissho Kosei-kai of Ramu**

#### **Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
*Tel:* 94-11-2982406 *Fax:* 94-11-2982405

##### **Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

##### **Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**

#### **Other Groups**

##### **Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**